

「地域の未来予測に関する検討WG」 第4回議事概要

日 時：令和3年3月4日(木) 15:00～16:00

場 所：オンライン開催

出席者：伊藤座長、石川委員、倉阪委員、坂口課長代理（五味田委員の代理出席）、城間委員、田村委員、野澤委員、松田委員、上羽部長代理（矢谷委員の代理出席）

事務局：植田市町村課長、安藤課長補佐

【議題次第】

1. 開会

2. 議題

(1) 地域の未来予測ワーキンググループの取りまとめに向けて

3. 閉会

【意見交換（概要）】

(1) これまでの議論・意見照会結果を踏まえた論点整理と対応方針について

※ 事務局より資料に沿って説明があった。

- 目指す未来像の議論とGISの活用の関係を整理する必要がある。
- 地方公共団体にとって、2050年の脱炭素社会の実現は大きなインパクトがあり、地域の未来予測を考える際にも意識する必要がある。
- 財政状況が厳しい地方都市では、現在のインフラを維持することが精一杯であり、新しい取組を行うのが困難。未来を見据えた議論をするための人員・予算が共に確保しづらい状況にあるのではないか。
- 本来はこのような状況下だからこそ、地域の未来予測をもとに将来を見据えて計画的に取り組んでいくことが重要。今回のワーキンググループの検討結果をきっかけとして、国や都道府県から財政面を含む支援を行うことで、未来を見据えた施策に取り組む市町村が現れることがより期待できるのではないか。

以上